

交通ルールを守り

# 自転車を 正しく安全に乗ろう

9月21日～30日 秋の交通安全運動

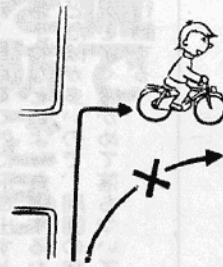
レジャーに体力づくりに、はたまた、ちょっとした外出の「足」にと、婦人層や子供に人気をよんでいるのが、自転車です。自動車のように免許証がいるわけでもなし、練習すればだれでも乗れる便利な乗り物ですが、心配なのは交通事故です。合図なしに急に道路に飛び出したり、斜め横断やUターンなど、自転車の交通ルール違反が原因での死亡事故が目立っています。九月二十一日からの「秋の交通安全運動」の重点目標のなかに「自転車の安全利用」があります。この機会に、一人ひとりが、正しい自転車の乗り方を身につけ、自転車の事故をなくしましょう。

## 交差点の正しいわたり方

交差点では、飛び出しがいちばん危険です。いったん止まるか、スピードを落として、前後左右の安全を十分確かめましょう。左折、右折は次のルールに従ってください。

### 右折のとき

〈信号機のあるとき〉交差点を斜めに、対角線上を横断するのは、最も危険です。直進する車にはねられる恐れがあるからです。まず、青信号で向こう側の角までまっすぐ進み、停止の合図をし



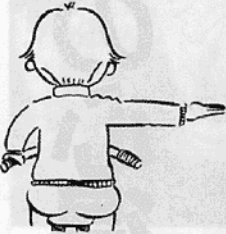
右折のとき

て、いったん止まります。そして、

## 方向指示は腕で合図を

反対側への斜め横断やUターンなど、直進中にいきなり進路を変えるのは、事故に結びつきやすく大変危険です。道路はみんなが利用するものです。車も自転車も歩行者も一定のルールに従ってこそ、みんなの安全が保たれるのです。自動車が左折、右折、停止をシグナルランプで他の車や歩行者に知らせるように、自転車利用者も、次の行動について、早く正確に「腕の合図」を送りましょう。

### 右折の合図



右折の合図

### 左折の合図

右腕をひじのところで曲げて、肩の線と直角になるように立てます。あるいは、左腕を横に水平に出してもかまいません。

てのひらを下にして、右腕を横に水平に出します。

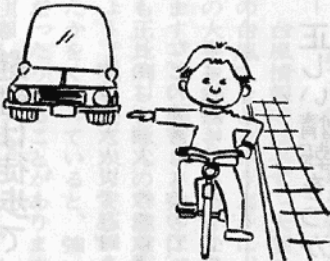
### 左折のとき

左折する自動車にはねられたり、後輪にまきこまれて死傷する事故が後を断ちません。自転車でも左折するときは、まず後ろの安全を確かめてから、早めに左折の合図を



左折の合図

### 発進の合図



発進の合図

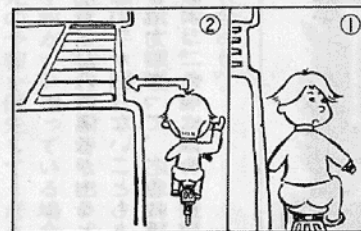
### 停止の合図



停止の合図

右腕を斜め下に出します。停止するときは、急にブレーキをかけたりせず、とくに後方の車などに注意して、道路の左端に停止し、左側に降りましょう。

手のひらを下にして、右腕を横に水平に出します。発進は見通しのきく道路の左端で、前方と後方の安全を確かめてからにしましょう。



左折のとき

降りて自転車の向きを右に変え、正面の信号が青になるのを待ってから、発進の合図をしてから進んでください。〈信号機のないとき〉早めに右折の合図をしてから交差点の向こう側までまっすぐ進み、スピードを落としながら前後左右の安全を確認して、右に曲がってください。

し、できるだけ道路の左端に沿って徐行しながら曲がってください。後ろに左折する車のあるときは、車をやりすごしてから左折するようにしましょう。また、歩行者の通行を妨げないように。